



地域協働コミュニティスペース
「ウエルカフェ」[®]
による地域包括ケアの取組み

～社会資源との協働による「通いの場」づくり～



2021年2月17日
ウエルシア薬局株式会社
地域包括推進部 宮崎 進一

『ウエルカフェ[®]』とは

『ウエルカフェ[®]』 = 店舗内に設置したフリースペース

休憩の場

+

井戸端会議の場

● 健康増進、福祉、文化活動などの地域活動を行なう場

公益活動を行う行政機関、社会福祉法人ならびに地域市民の利益に寄与することを目的とし、社会的課題の解決に取り組む、自主的、主体的に地域貢献活動を行う非営利団体（市民団体およびNPO法人）や市民が活動する「場」として無償提供するスペース

地域協働コミュニティスペース

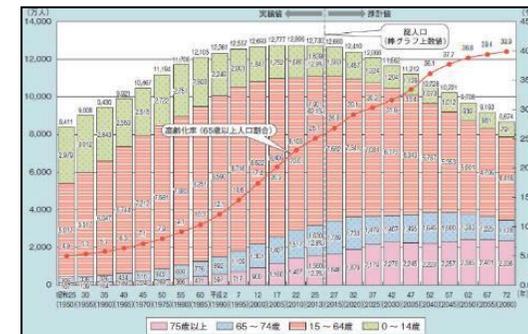
地域社会における諸課題を地域で暮らす人々で解決していくための場
= 「コミュニティ」創造スペース

『ウエルカフエ』[®] 設置運営の背景・目的

「お客様の豊かな社会生活と健康な暮らしを提供する」

1 少子高齢人口減少社会への対応

- 大規模な社会構造の変化
- 深刻な人口構造問題に直面



2 国家施策「地域包括ケアシステム」への対応

- 診療報酬、介護報酬の組み換え
- 国策の構築・運用変革への対応
- 民間参画の「地域包括ケアシステム」



3 社会貢献活動への対応

- 社会的責任としての貢献活動
- 企業価値への影響
- 地域・まちづくり



『ウエルカフェ』[®] 1号店 埼玉県坂戸市



2015年4月 OPEN



『ウエルカフェ®』仕様



●広さ：20㎡～30㎡

●座席：12席～16席

●設備：電源、手洗台

モニター、コルクボード

パンフレットスタンド

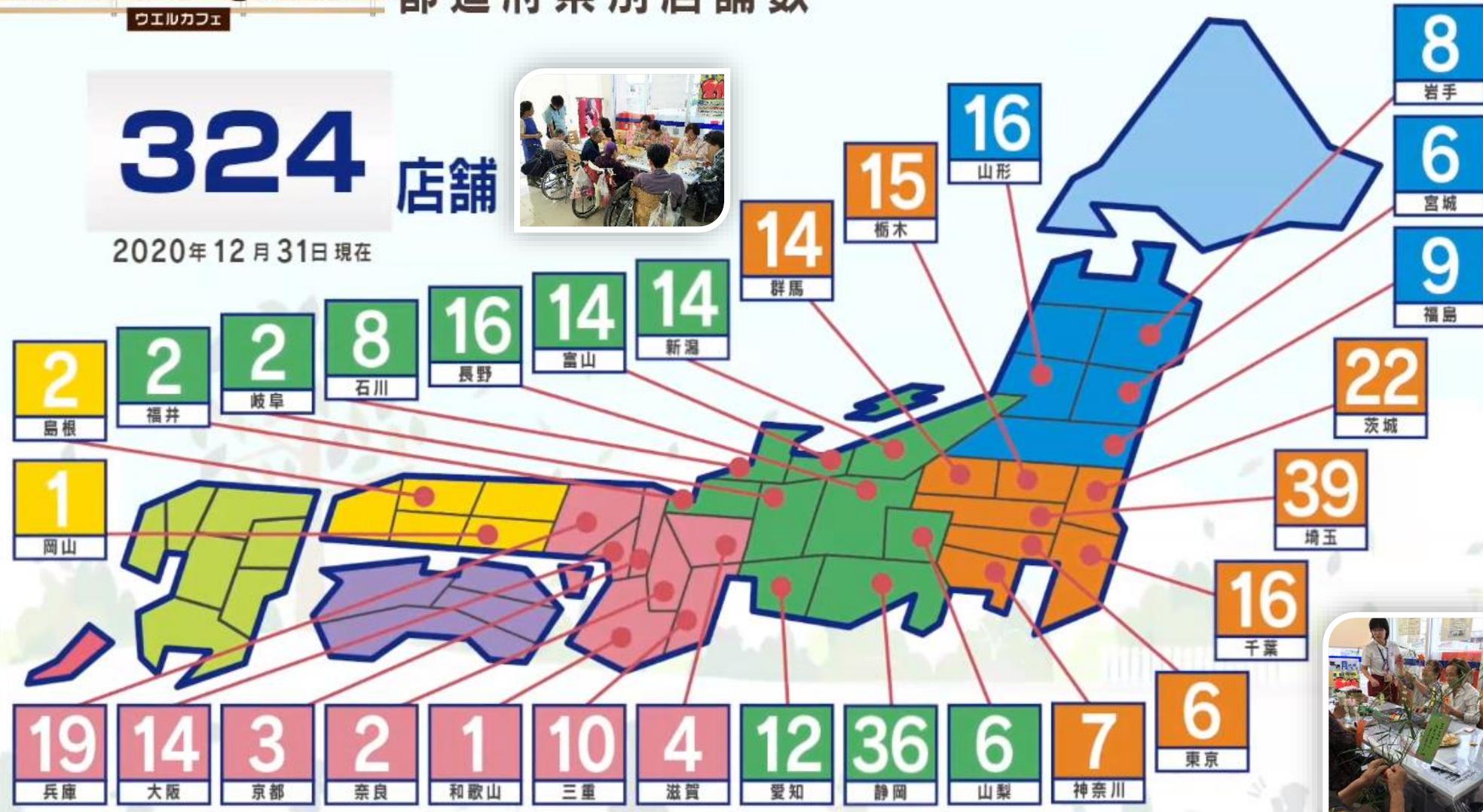
『ウエルカフェ®』 設置店舗数

Welcafe 都道府県別店舗数

ウエルカフェ

324 店舗

2020年12月31日現在



地域包括ケアシステムにおける位置づけ

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。

地域包括ケアシステムの姿



出所:厚生労働省

行政との協働実績

『ウエルカフェ』[®] を通じた行政の高齢者施策との協働



一般介護予防事業

- 介護予防教室
- 健康体操
- 介護相談会

生活支援体制整備事業

- 居場所づくり
- 買い物支援
- 担い手（住民）会合

認知症総合支援事業

- 認知症カフェ
- 認知症サポーター養成講座



『ウエルカフェ[®]』の地域協働活動

利用主体者（主催）

対象

利用内容

地域包括支援センター・
社会福祉協議会



NPO・市民団体



地域包括支援C・
社会福祉協議会 + ウエルシア



地域包括支援C・
社会福祉協議会 + パートナー企業



パートナー企業 + ウエルシア



NPO・
市民団体 + ウエルシア



NPO・
市民団体 + パートナー企業



高齢者

女性

子ども

障がい者

- 認知症カフェ
- 介護予防教室
- 高齢者サロン
- 介護者サロン
- 介護相談会
- 認知症サポーター養成講座
- 健康体操
- 健康教室
- メークアップ
- 子育てサロン
- 育児相談会
- 栄養相談会
- 学習支援
- 料理教室
- 趣味の会
- 会議・会合 など

さいたま市における協働事例

栄養が偏った食生活を送りがちな独居シニアが増加傾向にある中、栄養バランスを確保した食事を意識していただくために、さいたま市、さいたま市社会福祉協議会、地域包括支援センター、ウエルシア薬局が協働し、2017年10月から企画・運営している食事・栄養相談サロン



さいたま市

ずぼら飯サロン

食事・栄養相談サロン



生活支援コーディネーター第1層

さいたま市社会福祉協議会

生活支援コーディネーター第2層

シニアサポートセンター
ナーシングヴィラ与野



ウエルシア薬局

管理栄養士による食事・栄養講座 + 地域協働スペース「ウエルカフェ」

下仁田町における協働事例

東京大学×ウエルシア×下仁田町
住民自主グループ組成

■ 目的

健康増進・地域活性化の一環として
**地域活動を自主的に実践する住民を
発掘し組織化するための行政との
協働による住民への動機づけプロ
グラムの開発と検証**



■ プログラム概要

- ・ 内容：ノルディックウォークを健康増進のテーマとして取り入れた体験活動を通じて地域活動の意義を学ぶプログラム
- ・ 実施期間：平成30年9月27日（木）～11月8日（木）計4回のプログラム実施
- ・ 参加者：下仁田町住民 11名
- ・ 修了者：下仁田町住民 9名
- ・ 主催：東京大学・ウエルシア薬局
- ・ 後援：下仁田町
- ・ 協力：大木、キザキ

東京大学大学院教育学研究科 牧野研究室 × ウエルシア薬局 共同研究事業

下仁田くるるセミナー

下仁田町探訪ウォーキング

参加者募集

「フットパス」+「ノルディック・ウォーク」

「フットパス」は、イギリスを発祥とする「森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径（ごみち）【Path】」のことです。現在健康運動として注目されている「ノルディック・ウォーク」を取り入れての体験型セミナーを開催します。楽しく人と会話しながら歩くことで健康を維持し、日頃気がつかない風景に目を向けることで、下仁田地域で暮らす魅力を実感しましょう。

くるるセミナーの「くるる」とは、活動的なシニアのみなさんのイメージである「まぐ」「みる」「する」の語尾をとって名付けた愛称です。また、くるると循環するというイメージも兼ねています。シニア世代のみなさんが、この社会でぐるっと循環して、楽しく、健康で過ごすことのお手伝いをしたいとの思いから命名しました。

参加条件 年齢60歳以上で自歩行ができ、下記4回のプログラムに参加できる方

	日時	内容
日 時 内 容	第1回 9月27日（木） 13：30～15：30	地域活動の意義、フットパスとは？（講義+予習） 講師：東京大学 牧野篤 教授
	第2回 10月11日（木） 13：30～15：30	「歴史」の風景コース歩き （実践+ふり返り）
	第3回 10月25日（木） 13：30～15：30	「植物」の風景コース歩き （実践+ふり返り）
	第4回 11月8日（木） 13：30～15：30	下仁田フットパスコースマップを作成しよう！ （ワークショップ）

定 員 10名（先着順 要申込み） 参加費 無料 ※専用ポールは貸し出し

会 場 コース 第1回、第4回の会場：下仁田町役場 会議室
第2回、第3回のコースは第1回に発表

持 ち 物 第1回の座学時にご案内します。

申込み連絡先 下記連絡先へ電話にてお申込み下さい。
ウエルシア 下仁田店 ☎0274-70-3580

主 催：東京大学大学院教育学研究科 牧野研究室 ウエルシア薬局株式会社
後 援：下仁田町 協 力：株式会社大木 株式会社キザキ



埼玉県との協定締結

- 1 活動の「場」の提供
「ウエルカフェ」の無償提供
- 2 情報発信の「場」の提供
店舗に設置したパンフレットスタンドの活用
- 3 活動資金の提供
埼玉県NPO基金への寄付
- 4 人的リソースの提供
薬剤師、管理栄養士の協働



埼玉県共助の総合ポータルサイトです。

検索 背景色 A A A 文字サイズ 小 中 大

ホーム > 企業による共助・地域貢献 > 共助社会づくりのための協力に関する協定(ウエルシア薬局株式会社)

共助社会づくりのための協力に関する協定(ウエルシア薬局株式会社)

県とウエルシア薬局株式会社はアクティブシニアの活躍等を推進し、共助の取組を支援します。

ウエルシア薬局が経営するドラッグストア内に設置した小スペース「ウエルカフェ」をアクティブシニアやNPOなどが活動する場として広報していきます。同社のドラッグストア県内全店舗に、パンフレットスタンドを設置し県の事業の情報発信の場として活用するほか、埼玉県NPO基金(埼玉県特定非営利活動促進基金)へ寄付するための募金箱を設置し、県内の寄附文化の醸成を図ります。

目的

県民、NPO、企業など様々な主体が取り組む地域課題の解決や地域活性化を目指した活動を支援することを通じて、共助社会づくりに協力して取り組むことを目的とします。

協定の内容

1. 地域の情報及び課題の共有に関すること。
2. 地域課題の解決や地域活性化の取組の場の提供に関すること。
3. 地域課題の解決や地域活性化の取組の広報に関すること。
4. 専門職のスキルを生かしたボランティア活動などの取組に関すること。
5. 埼玉県特定非営利活動促進基金を通じた寄附文化の醸成に関すること。
6. ウエルシア薬局が行う地域貢献活動の取組に関すること。
7. その他、共助社会づくりの推進に関すること。

協定締結の様子

日時
平成28年11月11日(金曜日)

地域協働ネットワークの拠点～つながりの場～

お客様の豊かな社会生活と健康な暮らしを提供します



地域包括支援センター

自治体（市区町村）

社会福祉協議会

Regional 地域協働 Collaboration

民間企業

医療・介護

NPO法人

自治会・住民

- 認知症カフェ
- 介護・福祉相談
- お薬相談
- 介護予防教室
- 認知症サポーター養成講座
- 介護者サロン
- 健康測定会
- 交流サロン
- 健康体操・教室
- AED講習会

- 栄養相談
- 子育てサロン
- 育児相談
- メイクアップ・スキンケア
- 終活相談
- 学習支援教室
- ピアショップ
- こども食堂
- 住民会合
- 趣味の会

welcia

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

地域課題

- | | | | | | |
|------|-------|----------|--------|-------|------|
| 人口減少 | 少子高齢化 | コミュニティ衰退 | 子（孤）育て | ダブルケア | 学力格差 |
| 健康増進 | 介護 | 認知症 | 困窮児童 | 買い物困難 | 防犯 |



お客様の豊かな社会生活と
健康な暮らしを提供します
ウエルシアホールディングス

お問い合わせ



ウエルシア薬局株式会社 地域包括推進部 宮崎 進一

E-mail miyazaki@jlsa-net.or.jp

携帯 090-6516-6220

ウエルカフェHP <https://www.welcia-yakkyoku.co.jp/welcafe/>

